



◆ ◆ ◆ 地域に愛されるお店が大集合 ◆ ◆ ◆

白ゆり幼稚園、夏の恒例行事「白ゆりマルシェ」を開催します。「白ゆりマルシェ」は地域に愛されるお店がズラリと並ぶ夏のスペシャルイベント！バター香るスコーン、ふわふわクレープ、出来立ての揚げサンドに春巻き、シャキシャキの新鮮野菜、手作り雑貨やアクセサリー、空間に漂う香りが心地良いディフューザー、アロマのワークショップ、英語と科学がコラボしたワークショップ…etc 子どもから大人まで笑顔になれるお店が勢揃い（笑）在園児はもちろん卒園児、ご近所の皆さん、未就園のお子さんを持つご家族の方も大歓迎です。



札幌白ゆり幼稚園の温かな雰囲気と幼児教育のこだわりにも、ぜひ触れて下さい。お知り合いの方にもご紹介いただき、笑顔と出会いが重なる「白ゆりマルシェ」で、この夏の思い出を一つ増やしていただければ嬉しいです（笑）

と き : 2025. 7月26日（土）

と ころ : 札幌白ゆり幼稚園

時 間 : 11:00~14:00

注1) 駐車場の用意はありません。幼稚園周辺は全て駐車禁止です。近隣住民の方のご迷惑にならないようご配慮下さい。

注2) 上履きと下足袋をご持参下さい。

注3) ゴミ箱の設置はありません。ゴミは各自でお持ち帰り下さい。

注4) 園舎内は飲食禁止です。飲食は決められた場所でして下さい。園庭と屋上を飲食スペースとして開放いたします。

注5) 飲食の際に使用するレジャーシートをご持参下さい。また、園庭と屋上には日陰がありません。日傘等、暑さ対策をご準備下さい。

注6) 大変な混雑が予想されます。施設利用に関して、皆さんで譲り合うなどのご協力をお願いします。

当日の園舎内の見取り図は CODOMON の「資料室」に添付しておりますのでご確認ください。

▲ ▼ ▲ 先生に命中！夏の水鉄砲バトル ▲ ▼ ▲

屋上は「夏の小さな海」… キラキラの水しぶきに子ども達の笑顔も満開（笑）水鉄砲で先生にバシャ！先生からお返しバシャ！逃げる子を追いかける教師達の笑い声が風に乗って響きます。お家のお風呂では顔に水がかかるだけで怖がる子も、幼稚園の水遊びでは頭からびしょ濡れに…（笑）好きなだけ濡れてもいい解放感が笑顔を呼び、最高にワクワクする水遊び真っ盛りです（笑）



働きやすさと育てやすさの両立～ドイツに学ぶ社会のかたち～

前号からの続きです。前号ではドイツの子育て・教育環境が国の制度と社会の価値観にしっかりと後押しされているということを紹介させていただきました。

今回の視察研修では、保護者の皆さんと同年代でまさに子育て真最中のドイツの方にヒアリングをさせていただきましたが、どの方も口を揃えて「完璧な親でなくてもいい！」「子どもは社会で育てる！」という共通認識に支えられ、国の金銭的な支援と柔軟な政策、社会の価値観によって、子育てに対して安心して悩み、迷い、学び合える環境にあると話してくれました。

日本とドイツは共に少子化に直面していますが、子育て&教育を取り巻く制度と文化に大きな違いがあります。前号にも書いた通り、ドイツ人の労働時間は「成果重視・定時退社」が浸透し、家庭時間が確保しやすい環境が整っています。日本も働き方改革が進んできたものの「長く働く＝頑張っている」という価値観が根強く、親が子どもと過ごす時間を削らざるを得ないですね。

ドイツが出生率を1.3から1.5台まで持ち直した背景には、柔軟な働き方、安定した給付金、教育費の公的負担などがありますが、最も大きいのが「家庭時間の尊重」という社会的コンセンサスにあるように感じました。

日本は、全てにおいてドイツをはじめとするヨーロッパ諸国より劣っているのが現実です。ドイツ在住の邦人の方が「ドイツの働き方改革は“子育て視点”で先行していった経緯があります！」と話してくれました。

もう一度言いますが、あくまでも私見としてご承知おき下さい。

今回のドイツ視察では、働き方・子育て・教育の面で「こういう形もあるのか！？」とハッとさせられることが多々ありました。短時間労働にも関わらず日本以上の生産力があり、社会全体で「子どもは国の宝」という価値観が共有され、経済的にも精神的にも子育てと教育を支える仕組みがある。

日本にも素晴らしい文化や家族の絆がありますが、「何故？海外からの考え方や仕組みを取り入れることをしないのか？！」と強く感じました。ヨーロッパ諸国の子育てがどんどん開かれていく中、日本だけがそと扉を閉じているという印象を強く受けました。これは批判ではなく、もっと視野を広げてみれば、親も子どもももっと楽になれるのに…という気付きです。

子ども達の未来のために、私達現役世代が取り組むことは、「子育ては社会全体で支える意識を持つ」こと、働き方を見直し「家族との時間を大切にすること」、「多様な力を育む教育を重視すること」、「制度や政治に関心をもち、声を届ける」ことではないでしょうか！

小さな行動が子ども達の大きな未来に繋がります！ドイツの子育て・教育環境を視察して強く感じたことです！

次号では、老若男女問わず幸せを感じる、世界幸福度ランキング「第2位」、デンマーク視察での学びと気付きに触れたいと思います。